

# 川根本町 洪水・土砂災害ハザードマップ

分割位置 D

梅高区  
下長尾区  
下泉区  
菅町河内区  
瀬平区  
久保尾区  
久野脇区  
地名区

川根本町役場(総合支所) 川根本町 川根大橋

川根本町役場(本所舎) 中徳橋

近年、想定を超える大雨により、浸水被害や土砂災害が多発しており、県では大井川洪水浸水想定区域及び土砂災害(特別)警戒区域の指定を更新しました。

これに伴い、町では、町民の皆さんが円滑な避難の確保を行う上で、必要な事項を周知するため、川根本町洪水・土砂災害ハザードマップを作成しました。

地域の危険な箇所や避難所を事前にご確認いただき、災害時に皆さんが安全かつ速やかに避難できるようにご活用ください。 令和3年3月作成

## 洪水・土砂災害ハザードマップの使い方

- まず、自宅の位置を確認しましょう。
- 次に、自宅付近の避難所を確認しましょう。
- 危険な場所を避けて、避難経路を設定しましょう。
- 実際に避難経路を歩いてみて、安全を確認しましょう。

洪水・土砂災害の区域を確認しましょう。自宅のある場所が何色に塗られているかハザードマップで確認しましょう。

自宅が一番近い避難所を地図で確認しましょう。

浸水想定区域、土砂災害(特別)警戒区域を避けて、避難経路を設定しましょう。

家族や地域住民と話し合いながら、実際に歩いてみましょう。避難経路に危険な区域がある場合には、避難経路を見直しましょう。

事前に確認して、ハザードマップを上手に活用して、災害時に安全に避難しましょう。

# 災害時の警戒レベルと情報

※警戒レベルと避難情報の関係性はココからチェック⇒

危険度	小	大			
警戒レベル	警戒レベル 1	警戒レベル 2	警戒レベル 3	警戒レベル 4	警戒レベル 5
避難情報		避難準備・高齢者等避難開始	避難勧告	避難指示(緊急)	災害発生情報
町民の皆さんにとるべき行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>●災害への心構えを高める!</li> <li>●最新の防災気象情報に注意!</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●避難に備えて自らの避難行動(避難場所や避難経路)を再確認!</li> <li>●家族、親戚、知人と連絡をとる!</li> <li>●非常持出品の用意!</li> <li>●高齢者等支援の必要な方は避難開始!</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●避難していない人は避難!</li> <li>●避難することが危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内より安全な場所に避難!</li> <li>●近所に声をかけ、複数で避難!</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●避難していない人は避難!</li> <li>●避難することが危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内より安全な場所に避難!</li> <li>●近所に声をかけ、複数で避難!</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●避難していない人は避難!</li> <li>●避難することが危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内より安全な場所に避難!</li> <li>●近所に声をかけ、複数で避難!</li> </ul>
気象情報	早期注意情報(警戒級の可能性)	大雨注意報(洪水注意報)	大雨警報、洪水警報	土砂災害警戒情報	大雨特別警報(数十年に一度の大雨)
周囲の状況 災害発生の目安		地面一面に水たまりができる	道路が川のようになる	水しぶきであたり一面が白っぽくなる	大規模な災害の発生するおそれ強く、最悪な警戒が必要
雨の降り方		1時間雨量 20~30mm 未満(強い雨)	1時間雨量 30~50mm 未満(激しい雨)	1時間雨量 50~80mm 未満(非常に激しい雨)	1時間雨量 80mm 以上(猛烈な雨)
川の防災情報		氾濫注意情報	氾濫警戒情報	氾濫危険情報	記録的短時間大雨情報(1時間雨量110mm以上)
土砂災害警戒判定メッシュ情報	今後の情報等に留意	注意	警戒	非常に危険	極めて危険

土砂災害警戒判定メッシュ情報とは、大雨による土砂災害発生の危険度の高まっている領域を5kmのメッシュごとに、5段階に色分けして示した情報です。気象庁ホームページから確認(右のQRコードを参照)ができ、どの範囲で土砂災害の危険度が高まっているかを把握することができます。

この表はあくまでも目安です。雨の降り方などの状況によっては、表のような順番で情報が発表されるとは限りません。各種情報を積極的に収集し、自らの判断で避難をしましょう。

# 洪水・土砂災害を知る

## 洪水時における長島ダムの役割について

長島ダムには、洪水調整の役割があり、大雨のときに川の水位が急に増えないよう調整し水を流します。

長島ダムによる防災操作の仕組み

- 平常時: 洪水に備えて、台風や大雨の起きやすい季節には、ダムの貯水水位を下げ、洪水をため込む準備をします。
- 洪水時: 洪水になると、ダムへ流入する洪水の一部を貯水池に貯め、下流に流しても安全な分だけを放流します。
- 緊急時: 異常な大雨により、ダムに貯め込むことができない場合は下流に流す量を徐々に増加させ、上流から入ってくる水の量をそのまま下流に流します。

※原則として、①ダムから下流へ流す洪水の量 < ②ダムに入ってくる洪水の量  
※計画規模を上回る洪水時など、ダムの空き容量がなくなると① = ②

## 洪水を防ぐためのダム操作

普段のとき: 川の自然(魚・植物・水質など)を守るために水を流す。

大雨が降ったとき: 急激な水位上昇や被害の拡大を防ぐために調整して水を流す。

大雨のとき: ダムに貯め込まれた水を一部をダムに貯める。(洪水調節)

大雨のとき: 煙や家庭に送る水をいつも貯めておく。(洪水調節)

## 大井川の水位変化

以下の状況がある際、川に近づかない。

- 川の水が増えてきたとき
- 急な大雨が降ってきたとき
- 急に空が暗くなってきたとき
- 雷が聞こえてきたとき

氾濫危険水位: 氾濫危険情報が発令される目安となる水位

避難判断水位: 避難警戒情報が発令される目安となる水位

氾濫注意水位: 氾濫注意情報が発令される目安となる水位

水位観測所	水防団待機水位	氾濫注意水位	避難判断水位	氾濫危険水位	観測所 QR コード
川根大橋	2.70m	3.30m	4.00m	4.52m	
中徳橋	3.50m	4.40m	4.80m	5.20m	

## 大井川(川根大橋)平常時と大雨時の水位変化

平常時の様子

氾濫注意水位の様子

# 自宅での準備

## わが家の避難所

各自で調べて記入しましょう。

名称: \_\_\_\_\_

住所: \_\_\_\_\_

メモ: \_\_\_\_\_

家族と連絡がとれない時は? NNT災害用伝言ダイヤルの活用

伝言の録音方法: 1711にダイヤル イヤホンが着きます。録音の場合 1 市外局番+自宅の番号

伝言の再生方法: 1711にダイヤル イヤホンが着きます。再生の場合 2 市外局番+自宅の番号

## ハザードマップを見て自宅のある場所を確認しましょう

自宅は洪水浸水想定区域内(着色部分)にあるか ある ない

自宅は家屋倒壊等氾濫想定区域内(斜線・網掛け)にあるか ある ない

浸水深は \_\_\_\_\_ m

自宅は土砂災害警戒区域内(黄枠)、土砂災害特別警戒区域(赤枠)にあるか ある ない

## 日頃から、避難行動について考えましょう

わが家は自宅に留まり安全を確保します

わが家の地域に警戒レベル \_\_\_\_\_ が出たら...

安全な \_\_\_\_\_ の家に避難します(親戚や知人宅を書きましよう)

町が指定した \_\_\_\_\_ に避難します(避難所の名称を書きましよう)

※避難行動について家族で話し合います

持出品チェックリスト いつでも持ち出せるように、ふだんから準備・点検をしておきましょう!

- 貴重品: 身分証明書、健康保険証、印鑑・通帳、現金(小銭を含む)
- 小道具類: 懐中電灯、ヘッドライト、ラジオ、電池、携帯充電器
- 医薬品類: アルコール除菌、常備薬、おくすり手帳、体温計、マスク
- その他: 軍手、ティッシュ、タオル、ウェットティッシュ、スリッパ、雨具、防寒着、筆記用具、下着・上着などの着替え、レジャーシート、生理用品
- 水、食料など: 飲料水、非常食

上記以外に、個人や家庭の事情に合わせて、赤ちゃん用品や高齢者用品などの準備も確認しておきましょう。

川根本町役場 電話 0547-56-1111 警察 110  
川根本町役場総合支所 電話 0547-59-3111  
川根本町建設課(防災担当) 電話 0547-56-2227 消防 119

# 情報の伝達

避難時には町からかわねフォン・屋外拡声局・広報車・緊急速報メールなどを通じて避難情報等を伝達しますので、積極的に確認しましょう。

大雨が降っているときや、自宅周辺の異常を感じたら、テレビ・ラジオ等を通じて、自ら情報を入手するよう心がけてください。次のような状況では、防災情報が伝わりにくくなります。

- ① 雨戸を開ききつて覆っていたテレビ・ラジオをつけていなかった
- ② 停電中だった
- ③ 道路冠水などで広報車や消防車が広報できなかった

## 町民の皆さん

災害時に受け取れる情報

災害時に最新情報を確認

## 災害情報の収集先

川根本町 町のホームページで公開する防災情報。	サイボウズ「静岡県土砂総合防災情報」/静岡県 静岡県内の河川の水位、雨量、防災、気象の最新情報。
川の防災情報/国土交通省 雨量・水位情報、河川情報、カメラ画像。	静岡県地理情報システム(GIS) 静岡県が公表している土砂災害警戒区域などの情報。
気象情報/気象庁 気象庁から発表される川根本町に関する気象情報・注意報。	NHKラジオ NHK静岡放送局: AMラジオ第一 88.2kHz AMラジオ第二 63.9kHz FMラジオ 83.4MHz

## 気象庁の注意報・警報基準

種類	表面雨量指数基準	土壌雨量指数基準	記録的短時間大雨情報
大雨	警戒 21	171	1時間雨量 110mm
	注意報 16	111	

種類	流域雨量指数基準	複合基準
洪水	警戒 77.6	表面雨量指数基準 = 12 流域雨量指数基準 = 69.8
大井川流域	注意報 62	表面雨量指数基準 = 12 流域雨量指数基準 = 49.6

町の大雨と洪水に係る警報・注意報は静岡地方気象台より、以下の基準で発表されます。詳細は気象庁ホームページなどで確認しましょう。

- ① 短時間強雨による浸水危険度の高まりを把握するための指標です。
- ② 降った雨による土砂災害危険度の高まりを把握するための指標です。
- ③ 河川の土砂災害危険度の高まりを把握するための指標です。
- ④ 表面雨量指数基準、流域雨量指数基準の組み合わせを示しています。

# 避難行動の目安

下記のフローを参考に適切な行動をとりましょう。

スタート: このマップで、自宅の周辺は着色されていますか?

はい: 土砂災害(特別)警戒区域内ですか? 家屋倒壊等氾濫想定区域内ですか?

想定にとらわれず、河川水位や避難情報に注意して、適切な行動をとることが必要です。

土砂災害(特別)警戒区域: 事前避難所等の安全な場所に、避難する!!

家屋倒壊等氾濫想定区域: 事前避難所等の安全な場所に、避難する!!

浸水深3.0m以上: 住居が2階以上の住民は、避難が遅れると危険な状況になるため、避難情報に加え、水位情報にも注意し、木造家屋では、流れが速くなると倒壊する恐れもあるため、事前避難所等の安全な場所に、避難する!!

住居が堅牢で高い建物(鉄筋コンクリート)の住民でも、水が退くのに時間がかかる場合があるため、必ず避難所等の安全な場所に、避難する!!

浸水深0.5m~3.0m未満: 住居が1階以上の住民は、避難が遅れると危険な状況になるため、避難情報に加え、水位情報にも注意し、木造家屋では、流れが速くなると倒壊する恐れもあるため、必ず避難所等の安全な場所に、避難する!!

住居が2階以上の住民は、浸水が始まってからの避難は危険なため、避難が遅れた場合は、無理をせず、上の階へ待避する!!

浸水深0.5m未満: 避難が遅れた場合は、上の階へ待避する!!

## 避難の注意点について

単独行動は避ける: 単独行動は避けて、家族や近所同士など必ず単独行動をとりましょう。

安全な道路を選ぶ: 安全な避難経路を確認し、避難するときは溝や水路に十分注意しましょう。また、げげなれた道を避けてください。

正確な情報収集を: テレビ・ラジオ・インターネットで最新の水位情報、気象情報、避難情報に注意しましょう。

安全な服装で避難に協力する: 動きやすい服装を。ただし、長靴は雑音の多い靴で避難は避けましょう。

高齢者などの避難に協力する: 高齢者や子供、病気の人は、早めに避難が必要です。近所の高齢者などの避難に協力しましょう。

火の始末と戸締りに協力する: 避難する際に、電気・ガスなどの火元を始末し、戸締まりをしましょう。

持ち物はリュックサックに収納し、長靴、長ズボン、化学繊維より燃えにくい繊維製の服、雨具を必ず持参し、避難の際は、避難所まで避難しましょう。

# 土砂災害について

土砂災害とは、大雨や地震などにより、山やけが崩れたり、水と混じりあった土や石、流木などが川から流れたりすることによる自然の災害です。

## 急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)の前兆現象

がけから小石がばらばらと落ちてくる

がけに割れ目が見える

がけから水が湧き出ている

## 土石流の前兆現象

急に川に流木が混ざる

急に川の流れる音が濁る

雨が降り続いているのに川の水位が下がる

## 地すべりの前兆現象

亀裂が発生する

斜面から水が湧き出ている

井戸水が濁る

このような現象は土砂災害の前兆現象です。すぐに避難が必要です。

## 土砂災害特別警戒区域

急傾斜地の崩壊や土石流、地すべりが発生した場合に、建築物に損傷が生じ住民などの生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがある区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

## 土砂災害警戒区域

急傾斜地の崩壊や土石流、地すべりが発生した場合に、住民などの生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがある区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

## 急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)の場合

特別警戒区域: 急傾斜地の崩壊による浸水危険度の高まりを把握するための指標です。

警戒区域: 急傾斜地の崩壊による浸水危険度の高まりを把握するための指標です。

## 土石流の場合

特別警戒区域: 土石流による浸水危険度の高まりを把握するための指標です。

警戒区域: 土石流による浸水危険度の高まりを把握するための指標です。

## 地すべりの場合

特別警戒区域(最大で60m): 地すべりによる浸水危険度の高まりを把握するための指標です。

警戒区域: 地すべりによる浸水危険度の高まりを把握するための指標です。